

2018年2月14日

各位

西武鉄道株式会社

【お詫び】駅部材（コンクリート片）の落下について

西武鉄道株式会社（本社：埼玉県所沢市、社長：若林 久）では、2月12日（月）、拝島線武蔵砂川駅において、駅部材（コンクリート片）が落下する事象が発生しました。

同駅をご利用のお客さまには大変ご迷惑をおかけいたしましたこととお詫び申し上げます。

詳細につきましては、下記のとおりです。

記

1. 判明日時 2018年2月12日（月）11時30分頃
2. 発生場所 拝島線武蔵砂川駅（東京都立川市上砂町5-44-4） 駅敷地内道路脇
3. 判明の経緯 上記日時、上記場所において駅部材（コンクリート片）が落下しているのをお客さまが発見し、駅係員に連絡をいただきました。その後、駅係員が、同部材が落下していたことを確認しました。  
なお、現在のところ本件によるお怪我等のお申し出はございません。
4. 原因 老朽化が原因と思われます。
5. 落下物等 駅部材（コンクリート片）21個 合計の重さ6.2kg  
（最大片、重さ約3kg、縦約26cm、横約24cm、厚さ約5cm）
6. 再発防止策 武蔵砂川駅につきましては、当日中に緊急点検を行い、他に異状がないことを確認しました。今後、同構造の駅の緊急点検を実施いたします。

以上